

2021.6.1

第10号

広報

せきかわ連合



発行 関川地区土地改良区連合
責任者 理事長 齋藤 義信
〒943-0185
新潟県上越市大字長面14番地1
TEL 025-524-8800
FAX 025-522-5724
URL <http://www.sekikawarengo.com>
E-mail info@sekikawarengo.com

子どもたちに残す「農地と用水」

直轄地すべり対策事業「笹ヶ峰二期地区」 が事業着工しました



令和3年度から直轄地すべり対策事業が着手され、これから15年間にわたり笹ヶ峰ダム貯水池ニグロ川右岸地山の安定を図る工事が始まります。この対策工事により、ダム貯水池の安全と、将来に渡り安定した農業用水の確保が期待できます。

また、地すべり対策事業着工により既存事業所の名称変更と、笹ヶ峰二期農地保全事業建設所が妙高市に開設されました。

旧名称
北陸農政局
関川用水農業水利事業所



・名称変更
北陸農政局 関川用水土地改良建設事業所
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuei/sekikawa/index.html>
・新規開設
北陸農政局 関川用水土地改良建設事業所
笹ヶ峰二期農地保全事業建設所

関川連合第50回通常議員総会（R3.3.24）理事長挨拶

第50回通常議員総会開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より、関川地区土地改良区連合の事業運営に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今冬は、平場では、35年振りの記録的な豪雪となり、農業施設や農業用ハウスなど3月8日現在、上越市内で208件372棟の大きな被害が発生し、営農開始を直前に、被害者に対する救済が急がれるところです。

さて、私共として気になります笹ヶ峰ダム周辺の積雪は、昭和56年の観測開始以来過去40年間の本日3/24の平均（285cm）より、今年は（190cm）少なく、暖冬少雪の昨年（163cm）に迫っております。まだ判りませんが、はっきりしていることは「地球の温暖化現象」による異常気象の頻発です。

一昨年のように登熟期（7月第5半旬～8月第4半旬）が高温少雨で「水不足」になった場合、稲の品質・収量に最も影響しますので耕作者は基より、農業普及指導センター・JAなどそれぞれの立場で最大限の異常気象対策・基本技術の徹底指導が必要であり、既に指導機関に要請済みであります。

連合と致しましても「番水」も視野に入れながら、笹ヶ峰ダム周辺の今後の消雪状況や気象予報を精査のうえ、4月中の笹ヶ峰ダムの貯留を河川管理者等関係機関と検討するよう職員に指示しているところです。

さて、47年間続いた減反政策も3年前に廃止され、需要に応じた生産販売の名の基に生産者自らの責任において、自由に米を作れる時代となりました。

結果、全国的に稲作栽培面積が増加（R2年全国で136.6万ha：本県106,700ha）し、令和2年度全国作況指数が99の平年作で、下げ止まらない米消費の減退に加えて、新型コロナウイルスによる業務用米等の需要減により、適正在庫量を大きく超えております。令和3年度の水稲作付面積が令和2年度と大きく変わらず、全国の作況が平年作の場合米価の大暴落（60kg当たりの概算金10,000円程度）が懸念され、大規模経営体ほど被害（影響）甚大です。

このような米穀情勢の中で「水不足」による干ばつ被害は、米の品質低下と減収により、稲作農家が計り知れないダメージとなり、土地改良区としては、用水供給に最大限の努力を致します。一方、耕作者におかれましても基本技術の徹底（①土改資材を活用した土づくり②根張りを良くするための15cm程度の深耕③丁寧な代掻きと漏水対策④健苗による適期田植え⑤適正な穂肥）等々、異常気象に対応できる基本技術の徹底が必要で、それらの対応如何が勝敗の分かれ目となります。

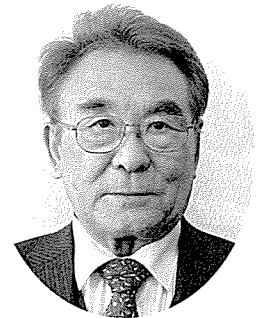
米価下落に備えて、経営安定のため飼料用米や大豆などの作付け転換に加えてナラシ対策（収入減少影響緩和対策）など、国・県等の支援策や制度をフル活用することが肝要です。

去る3月5日に北陸農政局の岩濱洋海局長が当連合を訪問され、今ほども申し上げました今日の厳しい米穀情勢の中、大区画ほ場整備やスマート農業等コスト削減の手法について情報を共有し、関連する国の支援策を要請致しました。

また、現在進められております国営かんがい排水事業も笹ヶ峰発電所や笹ヶ峰ダム操作（ダムコン）など課題もあり、今後の堆砂対策と併せて、速やかな対応を強く要請致しました。

結びになりますが本日の提出議案は、承認・報告を含めて14件であります。慎重審議をお願い致しまして、議員総会開会のご挨拶とさせていただきます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



関川地区土地改良区連合
理事長
齋藤 義信

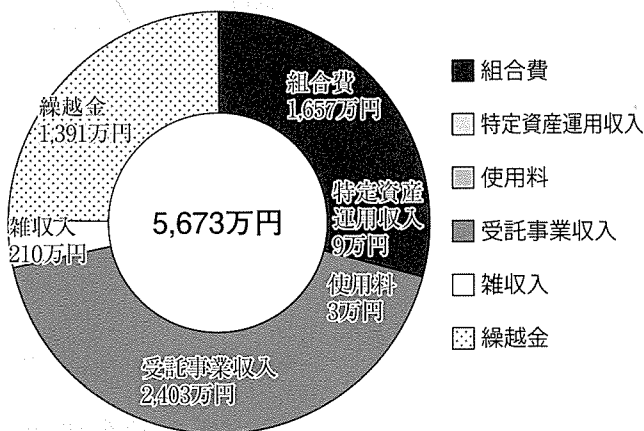
令和3年度事業計画及び予算

事業計画

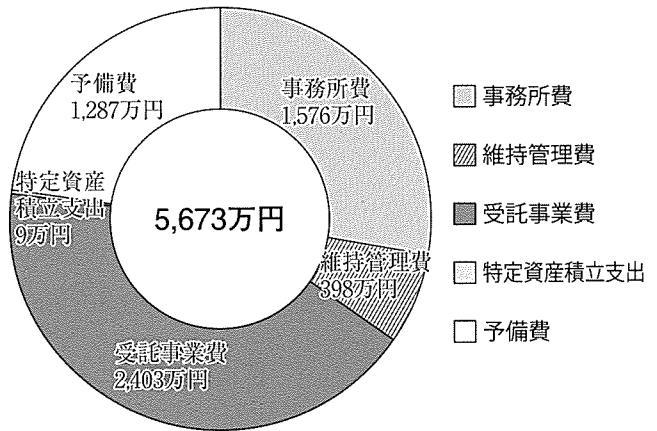
- 1 国営関川用水土地改良事業及び直轄地すべり対策事業の促進
 - ・国営土地改良事業関川用水地区推進協議会を主体に国等へ要請
- 2 笹ヶ峰ダムの抜本的な堆砂対策について
 - ・毎年2万㎡の堆砂の増加が想定される中、抜本的対策の早期実施を国へ要請
- 3 笹ヶ峰ダムの管理について
 - ・近年の少雪・渇水等の異常気象に備えたダム貯水計画と、万全な用水の供給体制の構築
- 4 環境に配慮した笹ヶ峰ダムの管理について
 - ・内水面漁協や市内小学校とタイアップし、イワナの放流を実施

令和3年度一般会計予算計画

【収入】

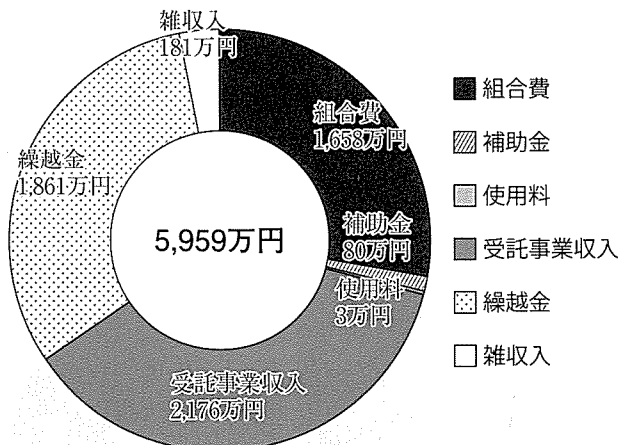


【支出】

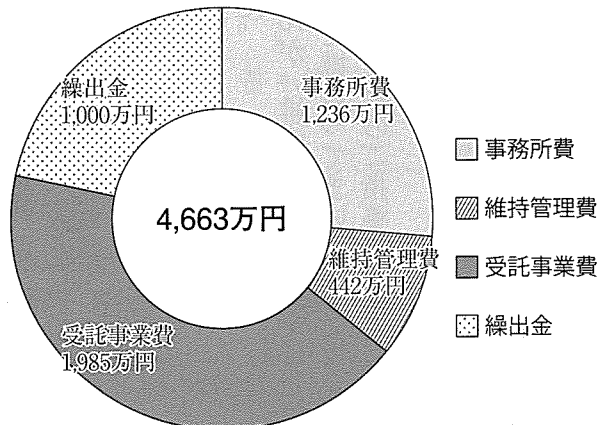


令和元年度一般会計決算報告

【収入】



【支出】



笹ヶ峰ダムの積雪状況と貯水について



暖冬少雪だった令和2年（4/15）の貯水池



今年の貯水池の状況（4/16）

※今年は昨年より早く貯水を開始したため、同時期で昨年より貯水位が3.3m上がっています。このため湖面の雪が早く融けました。

（単位：cm）

年	平成29年	平成30年	H31(R1)年	R2年	R3年	平 年
最大積雪深	433	335	349	231	310	338
4/1 積雪深	335	175	190	100	130	241

令和3年の冬は1月に平野部では記録的な大雪になりましたが、笹ヶ峰高原は期間全体を通して平年の3分の2程度の積雪で、昨年に引き続き少雪でした。

3月は気温の高い日が続き、雪解けが進んだことから、ダム湖へ入ってくる流量が例年になく多くなったため、例年5月からの貯水開始を、今年は昨年同様に4月から早期貯水開始を行い、5月上旬の満水を目指してダムを管理しました。

今年度も引き続き、「節水」にご協力くださるようお願いいたします。

退任挨拶

平成28年から関川連合に勤務させて頂き、このたび退職いたしました。

これまで、国営かんがい排水事業の推進をはじめ、笹ヶ峰ダムの管理等に携わってまいりました。5年間の勤務は、ひとえに皆様のご指導ご厚情の賜と感謝申し上げます。

世界的な気候変動による災害等の激甚化や頻発化により、関川連合が担うダムや幹線用水路の管理がより重要になってまいります。

これからの関川連合のご発展と、皆様のご健勝ご多幸を祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。



前事務局長
横田 晃一

上越市戸野目小学校児童（4年生）によるイワナの放流

笹ヶ峰ダムは妙高戸隠連山国立公園内に位置しており、豊かな自然環境を保全するため、当連合が事業主体で関川水系漁業協同組合や新潟県上越地域振興局の協力をいただき、上越市立戸野目小学校4年生の児童により10月23日にイワナ500匹を放流しました。

